

総務文教常任委員会

小・中学校連携

東中学校校区授業研究会を6月20日東小、7月16日南小、9月26日東中で開催。

夏休み中に2回、先生方の研修も開催。

学級補助員制度

学習などの指導、学級運営上必要な業務を行うもので、本年度は30人を任用、指導効果を上げるため研修会も実施。成果として、一番の教育環境は人であり、補助

員の配置は子どもの伸びに寄与しているとのこと。

課題として、活用あり方に学校間で違いがあり、効果のある活用になるよう補助員の成果を上げるには、資質や専門性の向上が必要。研修の充実だけでなく優秀な人材を確保する必要がある。

通学区域及び施設計画

大型マンション等の建設に伴い児童・生徒が増加し、教室不足となる学

校が生じる可能性が出てきた。対策を講ずるため通学区域審議会で審議され、一月に答申が出た。

生涯学習の推進

無料で講座を長年行い、住民をお客さまにしているのがリーダー育成につながっていない。有料も考える時期では。又担当課の指針が弱いなどの意見が出された。

行財政改革

補助金検討委員会から個別補助金の内容、交付基準、交付要綱などについて8月末に答申が出る。

厚生常任委員会



▲町立保育園の園児たち

保育園民営化計画

2園目は22年度となっているが、来年度に第三者評価を実施、その後分析の予定。その結果を見て22年度にこだわらず進めていく。基幹園（町立保育園）として最低一園は残すと報告を受けた。7月17日別府つくし保育園を視察。保護者との間で4、5月に苦情もあったが6月以降はなくなった。

学童保育

近隣町では連合会組織を立ち上げ、指導員の雇用も一括して行ない、指導方針も決め、事務全般、連絡調整等を行うための嘱託職員を2人雇用し、スムーズに会の運営がなされている。当委員会では長い間運営について議論してきた

が保護者、指導員への理解に努め、役員が変わらない今年度中に連合会を立ち上げる努力をするよう提言をした。

「コミュニティのへや」設置の請願

町長は、重要な課題ではあるが、一番の問題は財政状況であり、建築に対しては難色を示された。

地域生活支援事業

就労支援については事業者にアンケートを実施し、助成金制度等の説明会を行ない、商工会等と連携し、支援体制をとるよう提言した。

調査・研究 報告



▲中央小学校の下校風景

建設常任委員会

8月1日の臨時議会の中で副委員長に吉田議員が就任

漏水調査

7月14日から8月20日の工期で、管延長35kmの調査を実施。配水施設4カ所、給水施設4カ所、計8カ所の漏水を発見、推定漏水量は一時間当たり3.68m³。箇所は全て修理済み。

水洗状況

処理区域内人口3万3,246人、水洗化人口3万1,190人、水洗化率93.8%。

炭鉱跡地基盤整備

土木、側溝の布設、擁壁工事などを行っており、進捗率は25%。

桜丘団地

下水処理施設

志免炭鉱の坑道入口が2カ所発見され、生涯学習課と協議を行ない工事を進めている。桜丘よりの質問事項に對して8月27日に解答。日程調整ができないなど、余りに協議のテンポが遅い、行政側から積極的なアプローチをして協議を進めていくよう要請をしている。



▲炭鉱跡地擁壁工事

町の重要な問題を 委員会

議会運営委員会

決算特別委員会の運営については、前回の特別委員会における申し合わせのとおりとする。今回地方自治法の一部が改正され、その中の会議規則と議員報酬条例、政務調査費条例改正について、議員提案とし副委員長が提出。

志免跡地対策特別委員会

国鉄志免炭坑ボタ山開発推進協議会を開催し、19年度事業報告及び決算、20年度事業計画及び予算の審議を行なった。

(株)SNCの貸付料については、坪単価506円。3町での分配とし、志免町分は約245万円となっている。

議会広報特別委員会

「わか町のきらっとさん！」はボランティアをされている方々を出向いて取材した。

次回は西校区・東校区から取り組み予定。

情報をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

合併問題調査特別委員会

白紙となった6町合併についてその灯を消すことなく協議は続けているが、新合併特例法の期限内では厳しい。もし合併できなくても町単独で生き残れる手立てを平行して進めているとの報告。これを受け、柔軟な枠組への考え方や4月1日以降、全く合併についての情報が出されず、住民への説明責任が果たされていないといった質問、意見が出された。